



高小だより

津市立高茶屋小学校
令和元年(2019)年10月
文責：校長 石川 昌弘

全国学力・学習状況調査（児童質問紙調査）から

前号で、4月に6年生対象に実施された全国学力・学習状況調査の教科に関する調査について本校の現状や課題等をお伝えしましたが、今回は児童の学習環境や生活環境に関する児童質問紙調査の結果を全国平均と比べながら、本校の子どもたちの「優れている点」と「気になる点」について触れてみたいと思います。



<優れている点>

- ・朝食を毎日食べている。
- ・将来の夢や目標を持っている。
- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある。
- ・人の役に立つ人間になりたいと思う。
- ・国語の勉強は大切だと思う。
- ・算数の勉強は大切だと思う。

<気になる点>

- ・難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している。
- ・今住んでいる地域の行事に参加している。
- ・地域や社会をよくするために何をすべきか考えたことがある。
- ・授業で学んだことを、他の学習に生かしている。
- ・国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて必要な語や文を見つけたり、文章や段落同士の関係を考えたりしながら読んでいる。



今年度の質問紙から、将来の夢や目標を持っていると多くの子が答えています。将来の夢や目標を持っていると、それに向かって積極的に学習したり、生活したりすることができ、充実した毎日を送ることができると思います。この思いが将来に向けて、具体的なものとしてかなえられるように支援していきたいと考えています。



ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがあると多くの子が答えています。また、人の役に立ちたいと考えている子の割合も90%を超えています。こういった

経験が、自己有用感につながり、自分を大切にし、人を大切にするにつな
がっていきと思っています。

課題として、難しいことでも失敗を恐れずに挑戦しているということに否定的
に答えている子が多くいるということが挙げられます。このことは、学校全体の
課題としてとらえて、学校全体でも取り組んでいきたいと思ひます。

生活面では、毎日朝食を食べている、または、ほぼ毎日食べているという本校
児童の割合が95%を超えており、一日の活力源である朝ご飯をしっかりと食べている
ということは、しっかりと学習する土台ができていくということ、何よりも
大切なことだと思ひます。

学習面では、国語の学習については、大切だと多くの
子が答えています。しかし、反面、文章や資料を
読むときに、課題が見られます。

算数の学習は大切だと考えていて、将来、社会に出
たときに役に立つと約70%の子が答えています。

こういった子どもたちの意識を頭の中に入れながら、今後も、国語科の書くこ
とや読むことを大切にしながら、算数科やその他の教科についても基礎学力の向
上や定着につながるよう指導していきたいと思ひます。

そして、毎年のことですが、地域に関わる質問の回答が
気になります。子どもたちが学校を卒業した後、社会や地
域で活躍する期間のほうがはるかに長いと思ひますので、
地域や地域の皆さんといろいろな形で子どもたちが関わっ
ていけたらいいなと思ひます。

これからも、子どもたちのよりよい成長を考えて、ご家
庭のご支援ご協力を得ながら指導・支援していきたいと考
えています。よろしくお祈ひします。



高小まつり！！

10月26日土曜日(9:00~12:00)に、
PTA主催の高小まつりが行われます。

会場は、体育館とその周辺で、体育館では、松阪
シンフォニックバンドの演奏が行われます。また、
パンなどの予約販売も行われる予定です。

地域の皆様の来場も大歓迎です。お近くの方をお誘
いあわせの上、ぜひご来場ください。



